

第 17 回中部電力原子力安全向上会議アドバイザーボード 議事要旨

1. 日 時：2022 年 7 月 28 日（月）13 時 30 分～16 時 00 分
2. 場 所：中部電力本店内会議室
3. 出席者：＜社外委員＞
（本店ビルにて出席）小林委員、勝治委員、長崎委員、服部委員
（Web 会議にて出席）横山委員
＜社内委員＞林社長、増田（博）副社長、水谷副社長、
伊藤副社長、伊原専務、片山専務
＜関係者＞森経営考査室長、度會総務・広報・地域共生本部部長、
名倉原子力部長、加藤経営戦略本部部長（司会）

4. 議事要旨

「前回のアドバイザーボードでのご意見について」、「原子力部門、経営考査室、広報部門の取り組み」、「今回の安全向上会議での指示・議論」について当社より説明。多岐にわたる議論がなされた。

社外委員からの主な意見は以下のとおり。

- ルールは繰り返し教育し、行動に現れるまで徹底して定着させる必要がある。そのためには、本人の気づきが重要となるため、重要なエッセンスを抽出して受容性を高めるなど、浸透定着に向けた工夫もあるのではないかと。
- 現場は流れている作業であり、外乱が入ることで気づきが失われることがある。わかっても確認行為が疎かになり、作業省略が発生してしまうことがあるため、自身の立ち位置を客観視し振り返ることを通じて、自分ならばどうするべきか、気づきを与えられるような仕組み・ルールメイクが重要。
- 2025 年に太陽フレアが大きく活動すると予測されている。リスク顕在化の場合、原子力発電所運営に限らず、中電インフラに大きく影響を受ける可能性がある。総務省の資料などを参考に確認し、事前に検討しておくとういと思う。
- 中部電力と協力会社の風通しが良いことは素晴らしいことなので、単に仲が良いだけではなく、協力会社の責任を明確にすることと、敬意をもって接することが重要。
- 協力会社も含め、浜岡原子力発電所で働いている従業員の努力がもっとアピールされても良いのではないかと。11 年間停止している中で、約 2,700 名の従業員が再稼働に向けて安全対策工事、運転オペレーション訓練、設備メンテナンス、万が一に備えた訓練などを積み重ねられている点をより強調してはどうか。

- バーチャル見学会やWEB動画等のHP上に掲載されているコンテンツについて、より多くの方にご覧いただけるよう、各種SNSやYouTubeの活用方法を工夫することが重要。

- 社内において、他部署との交流や意識の共有を行う活動は、一体感の創出につながり非常に良い取り組みである。

以 上